

## ※高齢者(65歳以上)への用量制限

	初回のみ	継続
睡眠薬	マイスリー5mg ルネスタ 1mg	ベルソムラ 15mg ルネスタ 2mg ハルシオン 0.25mg サイレース 1mg
抗不安薬	—	ソラナックス 1.2mg デパス 1.5mg
抗精神病薬	—	—
抗うつ薬	—	トレドミン 60mg
気分安定薬	—	—
抗認知症薬	—	—
その他	—	—

<http://commulabo.com>

## ※肝機能障害や腎機能障害での減量

	肝機能障害で減量	腎障害で減量
睡眠薬	全て (ロラメットを除く)	ルネスタ
抗不安薬	全て (ワイパックスを除く)	—
抗精神病薬	全て	リスパダール、インヴェガ、クロザリル、ベンズアミド系 (ドグマチール、グラマリール)
抗うつ薬	全て	パキシル、トレドミン、サインバルタ、リフレックス
気分安定薬	全て	リーマス、ラミクタール
抗認知症薬	全て	メマリー、レミニール
その他	全て	ビ・シフロール、レグナイト、レグテクト

## ※胎児奇形性や授乳移行性の危険性

	胎児奇形性		授乳移行性	
	禁忌	リスク説明	禁忌	リスク説明
睡眠薬	ハルシオン、ユーロジン、 ドラール、ダルメート	全て	—	全て
気分安定薬	デパケン			
その他	インチュニブ			

# 心療内科・精神科の薬(2020)

- 睡眠薬□使用例
- 抗不安薬□使用例
- 抗うつ薬□使用例
- 気分安定薬□使用例
- 抗精神病薬□使用例
- 抗認知症薬□使用例
- 抗パーキンソン病薬
- ADHD治療薬
- アルコール依存症治療薬

- ※肝障害や腎障害での減量
- ※胎児奇形性や授乳移行性の危険性
- ※運転制限
- ※期間制限
- ※高齢者(65歳以上)への用量制限

## □使用例

	薬剤
入眠困難	マイスリー、レンドルミン
中途覚醒、浅眠、早朝覚醒	レンドルミン、サイレース、ベンザリン
高齢	デエビゴ、ロゼレム、マイスリー
不安による不眠	デパス
肝障害	ロラメット

### ※注意

朝の眠気(持ち越し効果)

ふらつき(転倒)、呂律不良、**呼吸抑制**←筋弛緩作用

脱抑制、せん妄

依存形成(耐性)、退薬症状(離脱症状)

認知機能障害

### ※禁忌

飲酒←相互作用

急性の緑内障←抗コリン作用

重症筋無力症←筋弛緩作用

## ■睡眠薬

	一般名	商品名	用量用法	作用/副作用				備考	
				催眠	筋弛緩	抗痙攣	依存性		
一 超 短 時 間	非 ベン ゾ 系	レンボレキサント	デエビゴ	2.5-10mg	+	0	0	オレキシン受容体拮抗薬 併用禁忌:フルボキサミン	
		スボレキサント	ベルソムラ	15-20mg	±				
		ラメルテオン	ロゼレム	8mg					
			<b>ゾルピデム</b>	<b>マイスリー</b>	5-10mg		±	±	翌朝にやや苦味 翌朝に苦味
			エスゾピクロン	ルネスタ	1-3mg	+			
			ゾピクロン	アモバン	7.5-10mg				
短 時 間	ベン ゾ 系	トリアゾラム	ハルシオン	0.125-0.5mg	++	+	±	++	夜間せん妄
		リルマザホン	リスミー	1-2mg	+	+	±	+	ベンゾ誘導体
		<b>ブロチゾラム</b>	<b>レンドルミン</b>	0.25mg	+	+	±	+	
		ロルメタゼパム	ロラメット	1-2mg	+	+	±	+	重度肝障害にも可
中 時 間		エスタゾラム	ユーロジン	1-4mg	+	+	±	+	
		フルニトラゼパム	サイレース	1-2mg	++	++	±	++	注射剤も
長		ニトラゼパム	ベンザリン	5-10mg	+	++	++	+	
		クアゼパム	ドラール	15-30mg	+	+	±	+	

## ■抗不安薬

		一般名	商品名	用量用法	作用/副作用				備考
					抗不安	筋弛緩	抗痙攣	依存性	
短時間	非	タンドスピロン	セディール	5-60mg/1-3x	±	0	0	0	セロトニン作動性
		トフィソパム	グランダキシシ	50-150mg/1-3x	±	±	±	±	自律神経調節作用
		クロチアゼパム	リーゼ	5-30mg/1-3x	±	±	±	±	
		エチゾラム	デパス	0.25-3mg/1-3x	++	++	±	++	催眠作用も
中時間	ベンゾ系	アルプラゾラム	ソラナックス	0.4-2.4mg/1-3x	+	+	±	+	
		ロラゼパム	ワイパックス	0.5-3mg/1-3x	+	+	±	+	重度肝障害にも可
		ブロマゼパム	レキソタン	1-15mg/1-3x	+	+	±	++	
長時間	ベンゾ系	クロキサゾラム	セパゾン	1-12mg/1-3x	++	+	+	++	
		ジアゼパム	セルシン	2-15mg/1-3x	+	++	++	+	注射剤は緩徐静注 坐剤
			ダイアップ	4-10mg/1x					
		クロナゼパム	リボトリール	0.5-6mg/1-3x	+	++	++	+	抗てんかん薬
超		ロフラゼプ	メイラックス	1-2mg/1x	+	+	+	+	

## ※運転制限

	注意	禁止
睡眠薬	—	全て
抗不安薬	—	全て
抗精神病薬	—	全て
抗うつ薬	SSRI(ルボックスを除く)、SNRI	左記以外の全て
気分安定薬	—	全て
抗認知症薬	レミニール	左記以外の全て
その他	—	全て

## ※期間制限

	14日	90日または制限なし	30日
睡眠薬	ラボナ	ベルソムラ、ロゼレム、ルネスタ リスミー、ベンザリン	左記以外の全て
抗不安薬	—	セディール、グランダキシン、 セルシン、ランドセン、フェノバル	左記以外の全て
抗精神病薬	—	全て	—
抗うつ薬	—	全て	—
気分安定薬	—	全て	—
抗認知症薬	—	全て	—
その他	—	右記以外の全て	コンサータ

## ■抗パーキンソン病薬

一般名	商品名	用量用法	副作用	備考
ビペリデン	アキネトン	1-6mg/1-3x	抗コリン作用→認知機能低下 ※注意:高齢者	筋注剤も

## ■ADHD治療薬

	一般名	商品名	用量用法	備考
ドパミン刺激薬	リスデキサンフェタミン	ビバンセ	30-70mg/1x朝	食欲不振、不眠 ※登録必要
	メチルフェニデート	コンサータ	18-72mg/1x朝	
選択的アドレナリン受容体作動薬	グアンファシン	インチュニブ	1-6mg/1x	嘔気
NRI	アトモキセチン	ストラテラ	40-120mg/1-2x	めまい

## ■アルコール依存症治療薬

	一般名	商品名	用量用法	剤型	半減期	備考
抗渴望薬	ナルメフェン	セリンクロ	10-20mg/1x			※専門医処方
	アカンプロサート	レグテクト	2g/3x			
抗酒薬	シアナミド	シアナマイド	7ml/1x朝	液剤	1日	禁忌:多量飲酒 →劇症肝炎
	ジスルフィラム	ノックビン	0.1g/1x朝	粉末剤	1-2週	

## ■ 抗認知症薬

	一般名	商品名	用量用法	適応			副作用	備考
				軽度	中等度	高度		
コリン 作動薬	ドネペジル	アリセプト	3→5mg/1x(1-2w) 5-10mg/1x	○	○	○	下痢 興奮	
	ガランタミン	レミニール	8→16mg/2x(4w) 16-24mg/2x	○	○	×		
	リバスチグミン	イクセロン リバスタッチ	4.5→9→13.5 →18mg(4w)					貼付剤
NMDA 拮抗薬	メマンチン	メマリー	5→10→15 →20mg/1x(1w)	×	○	○	めまい	

## □ 使用例

		薬剤
初期	抑うつ	アリセプト、レミニール、イクセロン
	興奮	メマリー
中期～後期		アリセプト増量＋メマリー

# ■抗精神病薬

	一般名	商品名	用量用法	作用			副作用			備考										
				抗 幻 妄	気 分 安	鎮 静	振 戦	便 秘	高 血 糖											
第 2 世 代	SDAM	ブレクスピプラゾール	レキサルティ	1-2mg/1x	+	+	+	0	0	0	持続性筋注剤									
	DPA	アリピプラゾール	エビリファイ	3-30mg/1x朝																
	SDA	ルラシドン	ラツーダ	40-80mg/1x食後	+	+	0	+	0	0	+	食後内服								
		パリペリドン	インヴェガ	3-12mg/1x朝									0	+	+	+	+	+	持続性筋注剤	
			ゼプリオン	25-150mg/4w																
		リスパダール	リスパダール	1-12mg/1-2x									0	+	+	+	+	+	+	持続性筋注剤
		リス・コンスタ	リス・コンスタ	25-50mg/2w																
		ブロナンセリン	ロナセン	8-24mg/2x									0	+	+	+	+	+	+	テープ剤も
	ペロスピロン	ルーラン	12-48mg/3x																	
	MAR TA	アセナピン	シクレスト	10-20mg/2x	+	++	++	+	±	±	±	舌下錠								
オランザピン		ジプレキサ	2.5-20mg/1x	+	++	++	+	+	+	++	禁忌:糖尿病									
クエチアピン		セロクエル	25-750mg/2x	±	++	++	0	+	+											
クロザピン		クロザリル	12.5-600mg/2x	++	0	++	+	++	++	治療抵抗性										
第 1 世	ブチロ系	ハロペリドール	セレネース	0.75-20mg/1-3x	++	0	+	++	+	+	持続性筋注剤									
	フェノ系	レボメプロマジン	レボトミン	5-200mg/1-3x	±	0	++	+	++	+	筋注剤あり									
	その他	ゾテピン	ロドピン	25-450mg/2-3x	+	0	++	+	+	+										

## □使用例

		薬剤
不安時	軽度	リーゼ
	中等度～重度	ソラナックス、デパス
	高齢	セディール、グランダキシン
	肝障害	ワイパックス
けいれん発作	発作重積	セルシン(5)1Aから緩徐静注。消失するまで。
	発作直後	ダイアップ座薬(4)1コ挿肛 フェノバル(100)0.5A筋注

### ※注意

眠気(過鎮静)

ふらつき(転倒)、呂律不良、**呼吸抑制**←筋弛緩作用

脱抑制、せん妄

依存形成(耐性)、退薬症状(離脱症状)

認知機能障害

### ※禁忌

飲酒←相互作用

急性の緑内障←抗コリン作用

重症筋無力症←筋弛緩作用

## □使用例

		薬剤
うつ不安	軽度	レクサプロ、ジェイゾロフト
	中等度～重度	リフレックス
意欲低下		サインバルタ、イフェクサー
うつ不安＋意欲低下		イフェクサー、サインバルタ、
パニック発作		ジェイゾロフト、パキシル、ルボックス
食欲低下		ドグマチール、リフレックス
うつ不眠		デジレル、テトラミド、リフレックス
強迫		パキシル、ルボックス
疼痛		サインバルタ、トレドミン
高齢		ジェイゾロフト、ドグマチール少量

### ※注意

**賦活症候群**:不安焦燥、衝動性→自殺リスク

急激な増量→セロトニン症候群:ミオクローヌス、自律神経症状

急激な減少→中断症候群:自律神経症状

## ■抗うつ薬

	一般名	商品名	用量用法	作用				副作用		備考	
				抗うつ	意欲↑	食欲↑	鎮静	嘔気	便秘		
S-RIM	ボルチオキセチン	トリンテリックス	10-20mg	+	+	0	0	0	0		
NaSSA	ミルタザピン	リフレックス	15-45mg/1x眠	++	+	+	++	0	0	性機能障害なし	
SNRI	ベンラファキシン	イフェクサー	37.5-225mg/1x	+	++				0	低用量でSSRI	
	デュロキセチン	サインバルタ	20-60mg/1x朝							疼痛にも	
	ミルナシプラン	トレドミン	12.5-100mg/2x								
SSRI	エスシタロプラム	レクサプロ	10-20mg/1x	+	0	0	0	+	0		
	セルトラリン	ジェイゾロフト	25-100mg/1x	+						0	
	パロキセチン	パキシル	5-50mg/1x	++						+	慎重:未成年
	フルボキサミン	ルボックス	25-150mg/2x	+						+	
その他	スルピリド	ドグマチール	25-600mg/3x	+	+	++	0	0	0	抗精神病薬	
	トラゾドン	デジレル	25-200mg1x	±	±	+	++	+	0	睡眠補助	
四環系	ミアンセリン	テトラミド	10-60mg/1x	±	±	+	++	0	+		
三環系	アミトリプチリン	トリプタノール	30-250mg/3x	++	+	++	++	0	++	夜尿症にも	
	クロミプラミン	アナフラニール	30-250mg/3x			+	+			点滴剤も	

## ■気分安定薬

	一般名	商品名	用量用法	血中濃度	作用		副作用、備考
					抗躁	抗うつ	
元祖	リチウム	リーマス	100-1200mg/2x	0.3-1.2	+	+	振戦、脳波異常
抗てんかん薬系	バルプロ酸	デパケン	100-1200mg/2x	50-125	+	±	シロップ剤も
	カルバマゼピン	テグレトール	100-1200mg/2x	4-12	+	±	相互作用
	ラモトリギン	ラミクタール	25-400mg/1-2x	—	±	++	注意:バルプロ酸
抗精神病薬系	アリピプラゾール	エビリファイ	3-15mg/1x		++	+	禁忌:糖尿病
	オランザピン	ジプレキサ	2.5-20mg		++	++	
	クエチアピン	ビプレツソ	50-300mg/1x眠		+	++	
	ルラシドン	ラツォダ	20-60mg/1x食後	+	++		

## □使用例

			薬剤
不穏時 (急性期)	経口可 (内服)	軽度	セロクエル25mg、リスパダール1mg、ジプレキサ5mg
		重度	レボトミン25mg
		高齢	リスパダール0.5mg、デジレル25mg
	経口不可	筋注	ジプレキサ10mg、セレネース5mg、レボトミン25mg
		点滴	セレネース5mg＋生食50ml ロヒプノール(2)1A＋生食50ml ※入眠直後で中止 & SpO2モニタ
慢性期			エビリファイ、リスパダール、ジプレキサなど

### ※注意

抗ドパミン作用： 錐体外路症状： **パーキンソン症状**(手指振戦、筋強剛、無動)、急性ジストニア、アカシジア、遅発性ジスキネジア

**悪性症候群**： 高熱、筋強剛

高プロラクチン血症：女性化乳房、乳汁分泌、月経異常

抗ノルアドレナリン作用：過鎮静、射精障害、起立性低血圧、不整脈(QT延長)←**循環抑制**

抗コリン作用：便秘、口渇(→水中毒)、尿閉、霧視、認知機能障害

抗ヒスタミン作用：傾眠、耐糖能異常

その他：肝障害、血球減少、てんかん、ピサ症候群

### ※禁忌

全身状態不良、昏睡、麻酔下、エピネフリン←抗ノルアドレナリン作用

## □使用例

		薬剤
躁状態	急性	ジプレキサ、エビリファイ
	維持	リーマス、デパケン
	急速交代	デパケン
うつ状態	急性	ラツーダ、ビプレツソ、オランザピン
	維持	リーマス、ラミクタール
情緒不安定		デパケン
高齢		デパケン